



1月の東高の恒例の光景と言えば1・2年体育の持久走(マラソン)です。ここのところ、第1グラウンドと第2グラウンドを使って、まとめの記録会が行われています。男子が3km(3000m)女子が2km(2000m)を走ります。

励ましの声援を掛け合いながら、アスリートな生徒も、運動の苦手な生徒も、一生懸命走っています。



校歌にも詠われている^{おおやまあふり ねさがみ やま}「**大山阿夫利根相模の山**」の悠然とした山並みが、頑張る子どもたちを見守っています。



コロナ禍とはいえ、さすがにマラソンでマスクをつけて走るわけにはいきません。感染防止対策として、**走り終わった直後は1メートル以上の間隔をあけて座り、マスクをつけるまでは互いにおしゃべりしない**というルールになっています。

このところ県下の感染拡大状況も悪化しています。子供たちが何の気兼ねもなく、キャーキャー過ごせる日々が1日も早く戻って来ることを祈るばかりです。



百周年記念の校歌オルゴール